

平成 27 年度 京都大学エネルギー理工学研究所
第 1 回ヘリオトロン J 双方向型共同研究委員会議事録

日 時：平成 27 年 8 月 27 日（木）午前 10 時 30 分～12 時 00 分

場 所：エネルギー理工学研究所 北 4 号棟 4 階 小会議室

出席者：武藤、岡村、政宗、西野、村上、水内、岡田、長崎、南（敬称略）

欠席者：北島、福田、吉川（敬称略）

水内センター長により今年度委員会の構成につき確認があり、委員長は武藤先生に依頼したい旨、提案があり了承された。

引き続き、幹事は西野委員・村上委員・岡田委員に決定した。

議事に先立ち、配布資料の確認が行われ委員会開始時間の訂正があり、委員会名簿が資料 7 として追加された。

議事

1. 平成 26 年度第 2 回委員会議事録案の確認

岡田幹事より資料 1 により前回議事録の読み上げが行われ、議事 2 の報告発表候補者の案に関しては、一部文言の訂正を行うと共に、最終決定された候補者を追記することとして承認された。

2. 核融合科学研究所双方向型共同研究委員会の動向と今後の展開

岡田幹事より資料 2 に基づき、第 1 回 NIFS 双方向委員会（6 月 17 日）での報告を下に、実験成果、進展状況の報告があり、質疑応答、意見交換が行われた。

3. 平成 27 年度ヘリオトロン J 実験計画について

水内センター長より、資料 3 に基づき実験スケジュールが説明された。

4. 平成 27 年度双方向型共同研究予算執行について

水内センター長より採択課題およびその予算執行状況について、資料 4 を用いて確認された。

5. その他

水内センター長より、第 2 回 NIFS 双方向委員会（8 月 7 日）で論文投稿料について、検討依頼があったことが報告された。幾つかの議論があったが、センター間での足並みを揃える必要も有り、継続議案とすることとなった。

引き続き NIFS 双方向委員会の動向に関しての報告があった。

次年度から第三中期に入るにあたり、新規性を打ち出す必要がある為、国内の連携を高め

る人事の流動性に関し、クロスアポイントメント等の活用に関する提案があり、各大学の状況を調査し、次回 NIFS 委員会に報告するよう要請されたことが報告された。
また、第二中期のまとめを行う必要があり、近く報告書フォーマットが送られてくる予定である事が報告された。

以上

配布資料

1. 平成 26 年度 第 2 回議事録 (案)
2. 平成 27 年度 ヘリオトロン J 双方向型共同研究の計画について
3. 平成 27 年度 実験スケジュール表
4. 平成 27 年度 予算 (採択課題) 一覧
5. エネルギー工学研究所概要 (2015)
6. エネルギー工学研究所パンフレット (2015)
7. 委員会名簿